

# スーパーラジカルシリコンGH

水性形一液外壁用シリコン系上塗材

## ◆製品データ

荷姿	16kg
塗布量	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup>
希釈	0.8~1.6ℓ(清水)
艶	艶有、3分艶、艶消
色	艶有、3分艶:アステック標準色68色+特別色対応可 艶消:アステック標準色66色

※濃色では艶消し剤の影響により、艶有塗料に比べて色味が白っぽく見える場合があります。詳しくは調色可否表をご確認ください。

### 【対応素材】

窯業系サイディング・モルタル・ALC・コンクリート・波形スレート(外壁)※・各種旧塗膜 ※高圧洗浄有り

### 【試験結果】

スーパーラジカルシリコンGH(艶有)

■JIS A 6909 建築用仕上塗材 『耐候性 B法』 合格

■JIS K 5660 つや有合成樹脂エマルジョンペイント

『容器の中での状態』『低温安定性』『塗装作業性』『乾燥時間』『塗膜の外観』『隠ぺい率』『鏡面光沢度』

『耐水性』『耐アルカリ性』『耐洗浄性』『耐湿潤冷熱繰り返し性』『屋外暴露耐候性』 全て合格

■『防かび性』 合格 ※社内試験規格(参考試験方法:JIS Z 2911 かび抵抗性試験方法)

■『防藻性』 合格 ※社内試験による

スーパーラジカルシリコンGH(3分艶、艶消)

■JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント及びシーラー

『容器の中での状態』『低温安定性』『塗装作業性』『乾燥時間』『塗膜の外観』『隠ぺい率』『耐水性』

『耐アルカリ性』『耐洗浄性』『促進耐候性』『屋外暴露耐候性』 全て合格

## ◆窯業系サイディング・モルタル・ALC・コンクリートの標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗 <sup>※1</sup>	①エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合: — 白の場合: 1.5~3.0ℓ(清水)	0.13~0.20 kg/m <sup>2</sup>	—	2時間以上	2時間以上	—	ローラー/ エアレス
	②ホワイトファイラーAII <sup>※2</sup>	16kg	—	0.3~0.9ℓ (清水)	0.80~1.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ (清水)	0.30~0.60 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上	—	ウールローラー
				0.6~0.9ℓ (清水)	0.70~1.2 kg/m <sup>2</sup>	1~2	5時間以上	5時間以上	—	リシガン
上塗	スーパーラジカル シリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

※1 下塗材に関しては下地の状態に応じて①、②のいずれかをご使用ください。 ※2 窯業系サイディング(初めての塗替え)には施工できませんのでご注意ください。

## ◆波形スレート(外壁)※の標準施工仕様 ※高圧洗浄有り

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	サーモテック シーラー A液	12.5kg	5	—	0.15~0.30 kg/m <sup>2</sup>	1~2	3時間以上	3時間以上	—	ローラー/ エアレス
	サーモテック シーラー B液	2.5kg	1				7日以内	7日以内		
上塗	スーパーラジカル シリコンGH	16kg	—	0.8~1.6ℓ (清水)	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup>	2	2時間 以上	—	24時間 以上	ローラー/ エアレス

### 【下地調整】

- 劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- 漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- 塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- 劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

### 【施工上の注意】

- 雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- 5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- 使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ウールローラー施工の場合、塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- 上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- 塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。

■製品については下記までお問合せください。

ver.202201



# ラジカル革命

水性形一液外壁用シリコン系上塗材

## スーパーラジカルシリコンGH



塗膜の劣化要因“ラジカル”を抑え  
長期間にわたり建物を保護する  
ラジカル制御型シリコン塗料



製造・販売元 株式会社 アステックペイント

福岡本社 / 〒811-2233 福岡県糟屋郡志免町別府北4-2-8  
東京営業所 / 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-6-110F  
大阪営業所 / 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-5-3 B1  
沖縄営業所 / 〒901-2201 沖縄県宜野湾市新城2-39-3-102

astecpaints.jp





# 塗膜の劣化要因“ラジカル”を抑え 長期間にわたり建物を保護する ラジカル制御型シリコン塗料



## 劣化要因“ラジカル”の発生を抑える2つの技術

塗料中に含まれる顔料の主成分「酸化チタン」は、紫外線の影響を受けることで「ラジカル」と呼ばれる劣化要因を発生させます。

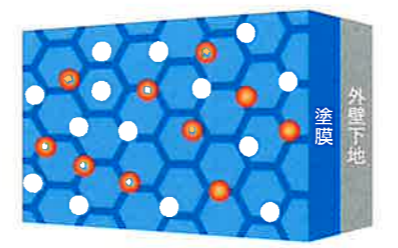
ラジカルは塗膜の劣化を進行させる劣化因子であるため、このラジカルが発生し樹脂の結合が破壊されると、塗膜の劣化が進行してしまいます。スーパーラジカルシリコンGHは、この劣化要因ラジカルの発生を抑える2つの技術により塗膜の劣化を抑制。建物を長期間にわたり保護します。

### 技術1 ラジカル制御型白色顔料を配合

ラジカルの発生を抑制する「ラジカル制御型白色顔料」を採用。ラジカルが発生しにくく、またラジカルが発生した場合にも、シールド層がラジカルの放出を防ぐため、樹脂が破壊されにくく、塗膜の劣化を抑制します。



■スーパーラジカルシリコンGH 塗膜イメージ



- 二重構造 アクリルシリコン樹脂
- ラジカル制御型白色顔料
- HALS

### 技術2 ラジカルを捕捉する「HALS」配合

※HALS:Hindered Amine Light Stabilizer (光安定剤)

塗膜中に発生したラジカルを捕捉する「HALS (光安定剤)」を配合。「HALS」はラジカル制御型白色顔料の補完として、ラジカルによる塗膜の劣化を防ぎます。



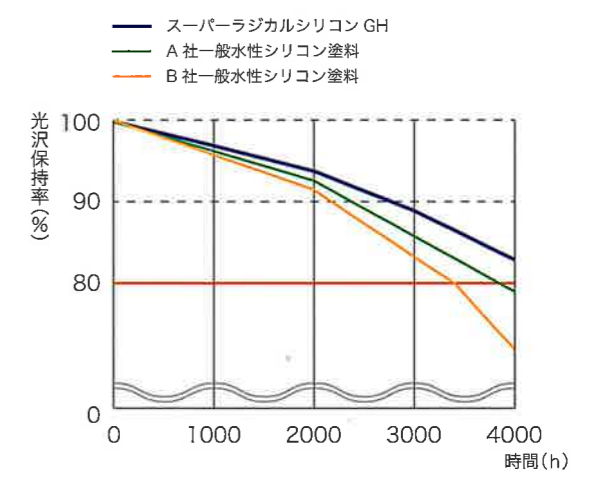
HALSがラジカルを捕捉。ラジカルによる塗膜劣化を抑える。

## 耐候性

### ラジカルによる塗膜の劣化を抑え 長期間にわたり建物を保護

促進耐候性試験(キセノンランプ式)において、約12~14年(期待耐用年数)経過後も光沢保持率80%以上を保持。塗膜の劣化要因であるラジカルの発生を抑制し、塗膜が劣化しにくいため建物を長期間保護します。

※あくまで試験環境下にもとづく推測値であり、耐候性を保証するものではありません。実際の自然ばく露環境下では、下地の状態、施工方法、気象条件により耐候性は異なる場合があります。  
※測定値を元に、グラフをなだらかに調整しております。

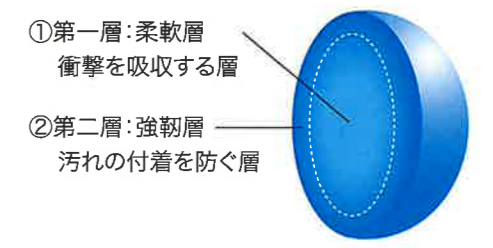


## 低汚染性

### 汚れが付着しにくく、美観を長期間保持

柔軟層と強靱層から構成される二重構造アクリルシリコン樹脂を採用。一般的なシリコン塗料に使用されているアクリルシリコン樹脂は表層の柔軟性が高く、汚れが付着しやすい課題を抱えていますが、この二重構造樹脂は柔軟性のある層を強靱な層でコーティングしています。この構造により、塗膜表面に汚れが付着しにくく、建物の美観を保持します。

■二重構造のアクリルシリコン樹脂



## 防カビ・防藻性

### カビや藻の発生を防ぎ、美観の保持に貢献

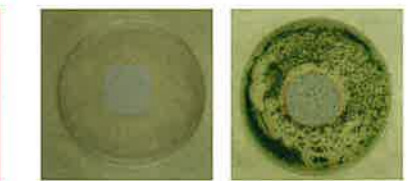
「JIS Z 2911 かび抵抗性試験方法」および「藻抵抗性試験(社内試験による)」に合格。カビ・藻の発生を抑え、美観の維持に貢献します。

【カビ/培養4週間後の様子】



スーパーラジカルシリコンGH 汎用塗料

【藻/培養4週間後の様子】



スーパーラジカルシリコンGH 汎用塗料